

# 自転車を活用した地域活性化

常葉大学 経営学部 小豆川ゼミ

指導教員：教授 小豆川裕子

参加学生(23名)

3年：大石唯斗 尾高大騎 永戸健太 伏見拓哉 保坂侑希 山田優香 山本花菜

2年：石井優 井上侑星 江原ななみ 金原由真 栗原陽斗 クンドゥ紀之 佐野智也 鈴木友也  
鈴木瑠辰 寺田侑加 徳能耀一 西川佳織 真野瑠菜 村松佑亮 村松梨菜 山本蒼空

## 1. 要約

富士市は現在積極的に「自転車活用推進事業」を推進している。安全・安心な自転車を利用できる環境整備を行い、市民生活の質の向上、都市の魅力・地域の活力の向上を通じて「自転車に乗ることが楽しくて笑顔になるまちふじ」を目指している。

本研究はこうした富士市の施策を一層推進するため、大学生の発想力と行動力を活かして地域活性化に貢献することを目的に実施した。まず、マーケティング施策としてe-Bike等を活用した地域活性化を捉え、ターゲットや施策内容、施策のもたらす効果等について検討を行った。あわせて全国の自転車を活用したまちづくりの先行事例を調査・分析し、成功事例の共通点・特徴をメンバで共有している。これらを踏まえて、初心者・中級者を対象に具体的なサイクリングルートを企画した。フィールドワークでは、自転車試乗を行いながらおすすめの観光スポットを取材し、あわせてe-Bikeおよびコースの検証を行い実施後、課題の検討および地域への提案をまとめている。

さらに全体の成果としてサイクリングマップ「ふじe-サイクル☆for Bicycle Love rs☆」を制作し、2022年1月26日、富士市スポーツ振興課、産業政策課の方々等を交えて完成報告会を実施した。マップは富士市サイクルステーションにて、レンタサイクルを利用する市民や観光客に配布される予定である。

## 2. 研究の目的

本研究は、現在富士市が積極的に取り組むe-Bikeを中心とした、自転車観光、ポタリング<sup>1</sup>等を通じて、若者の発想力と行動力を活かした地域活性化に貢献することを目的に実施する。

## 3. 研究の内容

研究の内容と実施時期は以下のとおりである。

2021年7月29日：富士市スポーツ振興課石井主幹より富士市「自転車活用推進事業」の概要の講義を受講

2021年9月中旬～10月中旬：3年生、2年生で以下をテーマにグループワークを実施。

3年生：マーケティング施策として、セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング、施策テーマ案を検討

2年生：全国のまちづくりで成功している主要なサイクリングロードの事例収集、分析、および施策アイデアを検討

2021年10月27日：進捗報告会を実施

スポーツ振興課石井主幹より講評・アドバイス、直近の富士市の施策の紹介

10月下旬～11月中旬：サイクリングコースの検討、おすすめの観光スポットの取材交渉、フィールドワークの準備

---

<sup>1</sup> ポタリングとは：目的地を特に定めることなく自転車で散歩するようにゆったり周辺をめぐること

2021年11月24日、29日：フィールドワークを実施

初心者コース①②、中級者コース①②に分かれてe-Bikeをはじめとしたレンタサイクルの試乗、おすすめスポットの取材、ルートの検証

2021年12月～2022年1月下旬：課題の抽出、提案、成果とりまとめ作業、サイクリングマップの制作、完成報告会を実施

#### 4. 研究の成果

(1)当初の計画 ほぼ予定どおりに実施。当初、本研究は課題、対応策の検討までを範囲としていた。

(2)実際の内容 A：当初計画に加え、学生たちの意向によりサイクリングマップ「ふじe-サイクル☆for Bicycle Lovers☆」を制作し、完成報告会を実施した。

(3)実績・成果と課題

##### ①実績・成果

学生が検討したマーケティング施策は図表1の通りである。

続いて自転車を活用したまちづくりで成功している先行事例「しまなみ海道（広島、愛媛）」「霞ヶ浦一周（茨城）」「琵琶湖一周（ビワイチ）（滋賀）」を中心に分析を行い、共通点・特徴を抽出した。結果、「明確なターゲット」「初心者から上級者までが対象」「自転車の種類が豊富」「レンタル場所のアクセスが良い」「走りやすい環境整備」「複数の企業や自治体が連携し事業を支援」等の特徴が挙げられた。

これらを踏まえて初心者・中級者対象のサイクルートを企画した。各コースの検証ポイントをメンバで共有し、おすすめスポットを選定した。飲食店等は取材依頼を行い、フィールドワークを実施した。フィールドワークのスタート前には富士市スポーツ振興課およびプロサイクリングチーム「レバンテフジ静岡」の方より自転車の操作方法、注意事項等のレクチャーを受け、安全走行、新型コロナ感染対策を徹底した。

フィールドワークでは、初心者コース①②、中級者コース①②に分かれて、お薦め観光スポットの取材、自転車走行およびルートの検証を行った。

学籍目線で駿河湾と富士山をはじめとした観光資源やグルメなど魅力を発掘し、あわせて自転車走行の感想・課題をまとめ、ルートの修正案および富士市への提案を検討した。

フィールド調査の報告会后、学生の意向により急遽、サイクリングマップを制作を決定し、今回御協力いただいたデザイナー小泉智晶氏へ依頼、原稿・レイアウト・デザイン・印刷を迅速に行い、1月26日にサイクリングマップ「完成報告会」を実施した。

図表1 富士市「自転車を活用した地域活性化」のマーケティング施策

セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング ～初心者から中級者まで裾野拡大を目指す		
市外在住 自転車愛好者中級者	市外在住自転車初心者	市内在住自転車初心者
市外在住ファミリー	市内在住ファミリー	子ども
施策テーマ		
Try the Mt. Fuji, e-Bikeでenjoyして富士を走りつくせ!!		
施策概要		
高低差のある富士市の特徴的な地形を利用したサイクリングで富士市の魅力を発信。e-Bike利用の増加、観光消費の促進により、富士市へ経済効果を狙う。		
ターゲットのニーズ	施策内容	施策のもたらす効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の設置場所へのアクセスの良さ</li> <li>おいしい食べ物</li> <li>観光名所</li> <li>富士市を堪能できるコース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各コースにある観光スポットや飲食店などを紹介し、富士市の魅力を発信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>e-Bikeやレンタルサイクルの認知度・利用度向上</li> <li>地域資源の発信によるブランド力の向上</li> <li>観光消費の促進</li> </ul> ⇒経済効果

## ②課題

12月末のフィールド調査報告会を経て、急遽サイクリングマップの制作を行うこととなり、スケジュールに余裕がなかったことが課題である。しかし、プロジェクトメンバはLINEを中心に情報共有や連絡・すりあわせを行った。具体的にはサイクリングルートの詳細、利用者が便利なオリジナル・アイコンの作成、取材文章の執筆・校正を行い、報告会に印刷を間に合わせる事ができた。

### (4)今後の改善点や対策

今回、2021年末に急遽サイクリングマップを制作することを決定し、年末年始も学生は活動を続けた。今後は、成果イメージを早めに確認し、なるべく余裕を持ったスケジュール設定を行い、メンバの負担を出来るだけ軽減することが改善点である。

## 5. 地域への提言

富士市への提言として、(1)サイクリング環境の整備、(2)プロモーション、(3)移住・定住促進策と連携、の3つが挙げられる。

### (1)サイクリング環境の整備

コースの道路整備、乗り捨て可能な場所およびレンタルステーションの増設、標識や道路標示、案内板の増設、故障時のサポート

### (2)プロモーションの展開

インスタグラムを活用した写真コンテストの開催、サイクリングナビのようなアプリの活用、モニターツアー、スタンプラリーの実施（割引特典などの景品）

### (3)移住・定住促進策との連携

ワーキングスペースを結ぶコースの設定、ワーケーション<sup>2</sup>プログラム、移住提案をするためのサイクリングツアーの開催

## 6. 地域からの評価

地域からいただいた評価は以下のとおりである。

本市から提案させていただいた「自転車を活用した地域活性化」に、研究室全体で取り組んでいただきましてありがとうございました。本市は、令和3年10月に「富士市自転車活用推進計画」を策定し、自転車を活用したまちづくりに取り組んでいます。

今回、本市が、研究テーマを投げかけさせていただいた経緯は、行政が取り組む施策に、学生の柔軟な発想を取り入れたいという思いと、学生に富士市のまちの良さに気づいていただき、学生自らが情報を発信していただきたいような施策を形にしたいという思いから応募をさせていただきました。

今回の、研究や実証実験により、学生の皆様には富士市のまちを自転車で楽しんでいただき、知っていただくことはできたと思いますので、学生から得られた率直な意見を、行政として如何に施策に反映していくか、自転車で訪れた人たちに如何に発信をしてもらえるようになるかだと思います。

今後も、本市の施策に対し興味を持っていただけるよう、行政としても努力していきたいと思います。（富士市役所市民部スポーツ振興課）

---

<sup>2</sup> ワーケーションとは：Work（仕事）とVacation（休暇）の造語。地方創生に寄与する「移住未満・観光以上」のワークスタイル・ライフスタイルとして注目されている。

